

令和3年度盛岡第二高等学校第1回学校評議員会 記録

令和3年7月2日(金)

15:30~16:52

場所:盛岡二高 会議室

進行:副校長 記録:総務課

○出席者 学校評議員 4名  
学校職員 9名

○日程 14:30 受付 14:40:校舎見学 15:20:評議員会(～16:50)

(1) 開会の言葉 (進行:副校長)

(2) 校長挨拶 (校長)

新年度がスタートして、4ヶ月目に入ったが、ここまで順調に来ることができている。全国高校総体も薙刀部、体操部、卓球部が出場、和歌山で行われる全国高総文祭には、箏曲、囲碁将棋同好会、視聴覚委員会が岩手の代表として出場することになっている。今回も、皆様方から忌憚のない御意見をいただきたい。

(3) 令和3年度学校概況説明

ア 学校経営計画について(校長)

3 目指す学校像について

(1) 今年度の重点目標

端的に言えば、「学力向上、進路希望の実現、部活動等の充実、いじめ防止、開かれた学校づくり」の5つを、本年度の重点目標とした。

(2) 取組方針

重点目標を達成するために、本年度、特に力を入れて取り組んでいきたいことについて説明を加えたい。

アの学力向上については、昨年度末に全普通教室に設置した電子黒板など、ICTの活用により生徒の学習意欲を喚起したいと考えている。教員の授業力向上研修においても、このことをテーマの一つに設定している。

イの進路希望の実現については、本年度から3年生の放課後課外の実施方法を変更した。これまで毎日行っていた一斉授業を3日間とし、残りの2日間は個別の学習や指導に当てたいと考えている。

ウの部活動等の充実については、6つの部や委員会がインターハイや全国高校総合文化祭に出場することになっている。本年度はさらに、生徒会活動の主体的な運営を推進しながら、生徒の自己肯定感の育成を図っていききたい。

エのいじめ防止については、年4回実施しているいじめ防止アンケートへの対応を、これまで以上に迅速かつ機動的に行っていききたい。6月のアンケートでは、昨年より件数が減少し、これまで見られたSNS関連の記載はなかった。

オの開かれた学校づくりについては、地域との協働を深化させていききたい。本年度新たに、盛岡市より学びの場プロジェクトの指定を受けることになった。盛岡市とも連携を深めながら、二高の魅力を広く発信していききたい。

(3) 達成指標について

アからエは昨年度と同様の数値目標とした。昨年度の結果は、それぞれ70%、81%、80%、96%で、すべて目標を達成することができた。

昨年度のオは、「学校の教育目標や方針をわかりやすく説明している」と答えた保護者の割合【80%】であった。結果は82%であったが、来年度からの新学習指導要領を見据えて、「本校は地域社会に貢献している」と答えた保護者割合【80%】とした。

## イ 重点目標について

### 【総務課】（総務課主任）

- 1 庶務・行事などの諸活動を円滑に運営する
  - ・コロナの影響を受け、卒業式、入学式を簡略化しながらも実施した。保護者の数を限定し、在校生は入れないなど工夫しながらの実施となった。
  - ・学校へ行こう週間は11月に実施。
  - ・昨年度中止になった文化講演会は5月に盛岡市と協賛で実施の予定だったが、10月末に延期となり県民会館大ホールで実施予定。
- 2 P T A（白梅振興会）活動の活性化
  - ・制約があるなか、熱心に活動していただいている。
  - ・P T A広報も昨年度に引き続き賞を頂いた。今年度は広報委員の方が体育祭の撮影にも来て活動して下さった。

### 【教務課】（教務課主任）

- 1 授業の集中力を高める
  - ・学力向上が最大の目標。そのために学習環境を整えさせるところから指導している。
- 2 家庭学習習慣を身につけさせる
  - ・生徒のアンケートを見ると、家庭学習時間は増えてきているが、なかなか取り組めない生徒も出てきている。
  - ・スマートフォンの利用時間や、生活習慣を整えさせるところから指導し、学力を身につけさせた上で、進路が達成できるようにしたい。
  - ・教員の授業改善を図るため3人ずつ9グループに分けて授業力向上を目指している。

### 【生徒指導課】（生徒指導課主任）

- 1 生徒規律の確立
  - ・挨拶の励行は満足するくらいには達してはいない。引き続き指導の必要がある。
  - ・整容指導に関して、大きな乱れはないが目立つ生徒がいる。
  - ・問題行動未然防止のため、SNSやスマートフォンの指導を引き続き行いたい。
  - ・いじめアンケートの中でSNSがらみはなかったが、このような問題が大きくなる例があるので、指導の工夫が必要と考える。
- 2 生徒会活動
  - ・コロナで制限はされているが、生徒会活動は活性化している。
  - ・応援活動の在り方を再検討していかなければならない時期である。
- 3 安全指導
  - ・自転車事故は少ないが、昨年度5件だったのが、今年度はこの時期で5件と多く発生している。

### 【進路指導】（進路指導課主任）

- 1 総合型・学校推薦型選抜に向けた人材発掘及び育成・大学入学共通テスト対策と2次試験対策の充実。
  - ・コロナの影響でオープンキャンパスもウェブ上やネットでの開催となっており、昨年度中止だったものが、少しずつ出来るようになってきているので、生徒へ紹介していきたい。
- 2 進路講演会、進路ガイダンス、「総合的な学習・探究の時間」の充実
  - ・1年生の夢ナビライブがコロナの影響でオンラインになり、大学訪問を計画したが、こちらもコロナの影響で厳しい状況にある。

### 3 課外

- ・今年、平日の月、火、木の週3回を全体指導、残り2日は模試の解説会や、生徒が自分自身で学習する環境を整えている。
- ・グループディスカッションなど、進路を深める指導を進めていきたい。

#### 【保健厚生課】（保健厚生課主任）

##### 1 健康管理及び保健指導の徹底

- ・コロナの影響があったが、定期健康診断は、歯科検診以外は順調に実施できた。
- ・各種保健行事も、体育館や白梅ホールでのクラスを分けての実施など、工夫をしながら行えている。

##### 2 保健衛生及び安全管理指導の徹底

- ・マイペットと布巾を配付し清掃時間に消毒作業を実施している。布巾かけを設置し、衛生面にも配慮している。
- ・非接触型の消毒、体温計を設置した。

### (4) 懇談

○進行 忌憚のない御意見を伺いたい。

#### ○総務課

「学校へ行こう週間」で、近隣の方々に効果的に告知する方法があれば教えて頂きたい。また、地域との連携をどのように進め、地域にどのように貢献していったらよいか、どのように期待されているか、知りたい。

#### ○評議員

関係のある子どもがいれば、行ってみようと思うがいなとなかなか行く感じにはならない。町内会であれば、小学校の子供会があるが、月1回のリサイクル収集などに、中高生も参加して欲しい。社会、地域との関わり合いを持ってもらわないと、後継者がいなくなる。中高生も勉強のスケジュールなどあると思うが、地域に出てきて欲しい。

#### ○教務課

学力向上の部分で、家庭学習時間が増加している生徒もいるが、1時間未満の生徒も散見されるため、手帳を利用し生活習慣の改善を行っている。学力面に対する印象や、地域の評価を伺いたい。また、中学生1日体験入学では、アンケート結果は概ね良好だったが、志願者の増加につなげることはできなかった。学校案内もレイアウトを変えて、中学生にアピールできるようにした。本校の魅力をアピールするためにどうすればよいか伺いたい。

#### ○評議員

学校は影響力がすごい。世代を超えた人との触れあい、つながりがあればよいのでは。中学生は高校生を求める。高校生がお手本になるはずなので、交流の場があればよいと思う。

#### ○評議員

体験入学では、好印象を持っている。中学生は、中学校ではなかった部活動などに挑戦したいと思っているが、テストの成績で希望の学校へ行きたい生徒が減ってきている。中学生自体の人数も減少しているので仕方がない部分もある。

#### ○評議員

被災地だけでなく、ボランティア活動にも参加してもらいたい。

#### ○校長

被災地へはボランティアに行っている。盛岡市のまるごと学びの場プロジェクトを利用して、盛岡市でボランティアを行い、その活動内容や成果を発表展示し、本校の学校活動の様子を広めていきたい。

○評議員

高校生が中学生に部活動指導をしたり、合同練習などをする機会があれば、中学生にアピールする機会になるのではないかと。

○評議員

先ほど、国際教養大学へ進学した生徒の話が出ていたが、上位者の生徒に対して学力を維持させて、育ててつなげていく指導はどのように行っていたのか伺いたい。

○昨年度3学年担当者

上位者指導はもちろん行っていたが、本人のやる気が一番だったと思われる。自分で学習を進めていた。昼休みなど外国語指導員にも指導をしてもらっていた。

○生徒指導課

時代の変化に合わせた校則の見直しを行う時期に来ている。また、部活動への加入は、昨年度より任意加入へと変更している。今年度は12名が未加入となっている。全体的にも変わっていくのではないかとと思われる。学校におけるクラブの立ち位置、意義を社会と比べながらやっていく必要があり、個々に気になることがあれば教えて欲しい。

○評議員

中学校でも、校外活動部として対応している生徒がいる。また、他の中学校でも未加入を認めているが、そういった生徒の指導に苦労しているとのこと。

○評議員

服装について冬の黒や紺のコートは、色が暗く交通安全上危険な気がする。また、応援団の教えようとする姿勢は大切だが、時代にあった指導をしてほしい。

○生徒指導課

服装については何年か前から指摘があり、検討が必要。応援歌練習に関しては、応援委員も少しずつ変わりながら、教えようとしている生徒が出てきているので、よい方向に言って欲しい。

○評議員

スマートフォンの利用についても、調べ物の他に、友人とのつながりがあると思う。しかし、スマートフォンの使用時間で悔やまれることも多いと感じる。希望する進路に行くためにはスマートフォンが無駄だということが1年生には分からないと思うので、卒業生を囲む会などで、先輩から話をしてもらってもよいのではないかと。

○評議員

自転車と並進している姿も見ないし、指導が行き渡っていて素晴らしいと思う。体操の高校総体を見ても、チームで励まし合う姿が素晴らしかった。

○評議員

女性職員の割合は、他校と比べてどうなのか。

○校長

女性職員は50%弱で、他校より多い割合である。

○評議員

女子を導くのは女性だと思うので、優秀な女子の先生を維持して欲しい。環境がとても大切で、人生最後の先生になるかもしれないので、先生方もそういった気持ち、情熱であってほしい。

○進路指導課

推薦で進学を決める傾向は今後も続くと考え。生徒の適性も考慮しながら進路決定につなげていきたい。多様な進路に対応して行きたい。

- 保健厚生課  
健康教室などの開催の仕方でよい方法があるか、また、本校の生徒は平均体重超過の生徒が多く、おやつが原因かと思われる。
  - 評議員  
おやつがコミュニケーションの一つというところが子どもたちにはあると思う。健康教室などは県民会館を利用してはどうか。
  - 評議員  
高校生はダイエットに励んでいると思ったが、そうではないということに驚いた。ジャンクフードは栄養的には満たされず、カロリーが高いので、健康を損なうことを教えるべき。ジャンクフードは脳が喜びを感じて、鈍くなりまた食べたくなくなってしまう。
  - 評議員  
コロナは学校が頑張っても、大人が持ってくると大変。一番は誰かがなったときに、なった人がつらいということを教え、友達にうつさないような指導をしていくしかない。熱中症の指導もしていくべき。
  - 評議員  
自動販売機に温かいものはおいてあるのか。
  - 保健厚生課  
一列は夏でもおいてある。自動販売機には、水とお茶しか置いていない。
  - 評議員  
学校の付近にコンビニエンスストアが多いので、購入してくる生徒が多いと思われる。
- (5) その他
- (6) 閉会の言葉 (副校長)